



介護する人・受ける人がともに大切にされる制度を！

介護保険制度の抜本的転換を求める 6.23院内集会



コロナ禍の中、介護施設でのクラスターの発生や感染判明後も病院搬送がされずに施設にとどめられるなど、有効な感染対策をされずにいます。そんな中で政府の財政審は4月、利用料原則2割化やケアマネのケアプランの有料化、生活援助の切り捨てなどを打ち出しています。秋までにある総選挙に向けて、実態交流で現場の声を反映した7団体の共通要求をつくりましょう。また、介護保険制度の抜本的転換を求め、2021年度介護署名をスタートしましょう。

6月23日(水) 15:00~17:30

●会場 参議院議員会館 101会議室

(14:30から通行証を配布します)

※Zoom ミーティング併用 <https://bit.ly/3fglOFm>



●学習講演

「介護保険制度20年の課題(仮)」

講師：小竹雅子氏

●7団体の要求 ●現場の実態交流 ●行動提起



小竹雅子さん：市民福祉情報オフィス・ハスカップを主宰。メールマガジン「市民福祉情報」の無料配信、電話相談やセミナーを企画。著書に『総介護社会 - 介護保険から問い直す』（2018年。岩波新書）「おかしいよ！改正介護保険（編著、現代書館）など多数

主催：中央社保協 全労連／全日本民医連／公益社団法人 認知症の人と家族の会／21・老福連／いのちと暮らしを脅かす安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉の会／守ろう！介護保険制度・市民の会
連絡先 03-5842-5611(全労連) 文京区湯島2-4-4平和と労働センター・全労連会館4階